

平常展

仏教の思想と文化

インドから日本へ

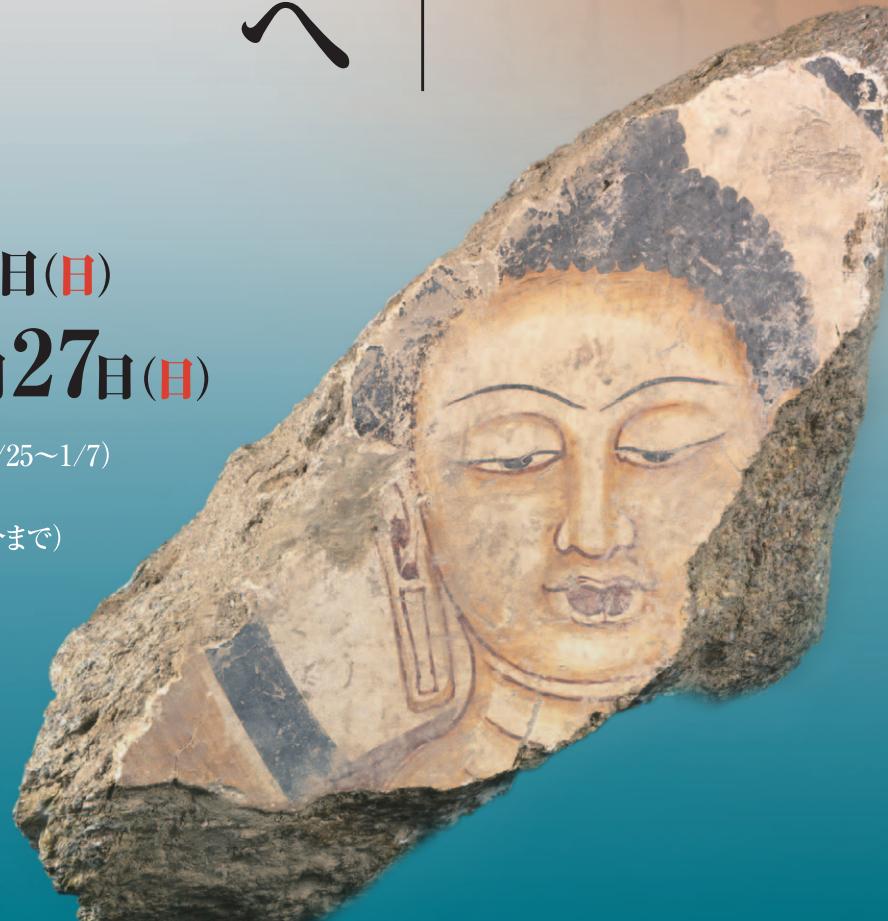


第1期
2012年 8月24日(金) - 9月30日(日)

第2期
2012年 12月8日(土) - 2013年 1月27日(日)

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12/25～1/7）
(詳細はHP等でご確認ください)

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）



龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

平常展

仏教の思想と文化

インドから日本へ

展示構成

第1部 アジアの仏教

インドで仏教が誕生し、アジア全域に広まる

- ・仏教誕生…釈尊（ガウタマ・ブッダ）の生涯とその教え
- ・仏教の広がり…インド、中央アジア、東南アジア、東アジア
- ・多様な仏教…出家修行者と在家信者が織りなす多様な仏教世界

第2部 日本の仏教

日本へ仏教が伝来し、日本社会に根付く

- ・仏教伝来…仏教伝来にかかわる史実と、伝承上の仏教伝来
- ・国家と仏教…国家政策としての仏教導入と貴族社会への浸透
- ・仏教文化の円熟と日本の展開…日本国内での仏教の歩みの上に新たに醸成され、幅広い階層に受け入れられていった仏教の諸相



九字名号

南北朝～室町時代 龍谷大学

名号の全体から六十数条におよぶ光芒を放つ形式は古様で、書体は、親鸞在世中の作と推測される愛知・妙源寺の三幅本光明本尊の中幅など似る。九字名号の優れた古例のひとつ。江戸時代には親鸞真筆と伝えられていた。



木造 地蔵菩薩坐像

鎌倉時代 滋賀・園城寺

均衡のとれた頭体の造形、穏やかでリズミカルな衣の表現など、作者の力量がうかがえる。唐院長日護摩堂に地蔵菩薩として伝來したが、十輪師など僧形の神像であった可能性も指摘されている。

四面仏坐像 マトゥラー
2世紀 龍谷大学



両界曼荼羅

室町時代 京都・永觀堂禪林寺

「大日經」に基づく胎藏曼荼羅と、「金剛頂經」に基づく金剛界曼荼羅からなり、密教の最上の仏である大日如来を中心とし、密教の世界観を表現する。日本で最も流布した空海請來の現図曼荼羅形式で、地文に截金、諸尊の装身具等に箔をおくなど本格的な作画をみせる。
※写真は胎藏曼荼羅

大般若經 卷第九十一（薬師寺經）
奈良時代 奈良・薬師寺

褐麻紙にいかにも天平風の雄渾な書体で書写され、伝承筆者の名をとて「魚養経（ななかいぎょう）」とも称される。「大般若經」600巻を書写した薬師寺伝來の写経のうちの1巻。



仏伝浮彫「梵天勸請」 スワート
1～2世紀 龍谷大学

釈尊の生涯を表した浮彫で、説法を躊躇する釈尊に、梵天をはじめとする神々が教えを説くことを懇願する「梵天勧請」の場面。全体にインド的な要素が強く認められる浮彫で、スワート地域で出土する独特の様式。



今後の展覧会予定

■ 秋季特別展

「絵解きってなあに?-語り継がれる仏教絵画-」 2012年10月13日(土)～11月25日(日)

企画展

「若狭・多田寺の名宝」 2013年2月9日(土)～4月7日(日) (第3期平常展と併設)

平常展観覧料

一般	500円 (400円)
シニア・大学生	400円 (300円)
高校生	300円 (200円)

※()は20名以上の団体料金 ※シニアは65歳以上
※中学生以下、身体障がい者手帳・療育手帳・戦傷病者手帳等の交付を受けている方およびその介護者1名は無料。
※特別展・企画展の観覧料は、別に定めます。

交通案内 ●JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分
●地下鉄烏丸線「五条」駅から徒歩約10分
●京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車約2分



当館には専用の駐車場はございません。
ご来場の際は、バスなどの公共交通機関をご利用下さい。



龍谷大学

龍谷ミュージアム
RYUKOKU MUSEUM

Tel: 600-8399 京都市下京区堀川通正面下る(西本願寺前)
Tel: 075-351-2500 FAX: 075-351-2577
<http://museum.ryukoku.ac.jp>